

# 授業実践のまとめ

義務教育研究グループ数学班

飯塚 寿夫(子持中) 岡村 健一(川場中) 小保方 努(宝泉中) 関 稔(赤堀中) 山岸 信之(沼田中)  
担当指導主事 特別支援研究グループ 飯塚 幹雄

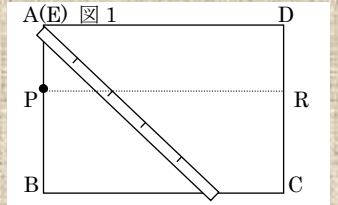
## 視点1 本時のねらいを達成するための手だては有効であったか。

数学的活動

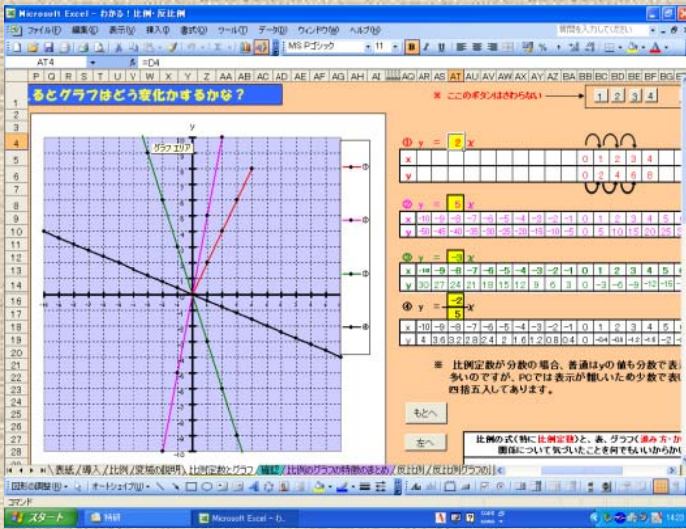
【課題】これから見てもらうビデオは、アニメ「アルプスの少女ハイジ」のオープニングである。長いロープで作られたブランコに乗っているハイジ。いったいこのブランコのロープの長さは、何mでしょうか？

【課題】この長方形の縦の辺(AB)を2:3に分ける点Pの位置を求める方法を考えよう。

生徒自ら進んで課題に取り組んだり、多様な考え方を見出そうとしたりする数学的活動を通して、『関心・意欲』『数学的な見方・考え方』を高めることができた。



IT教材の活用



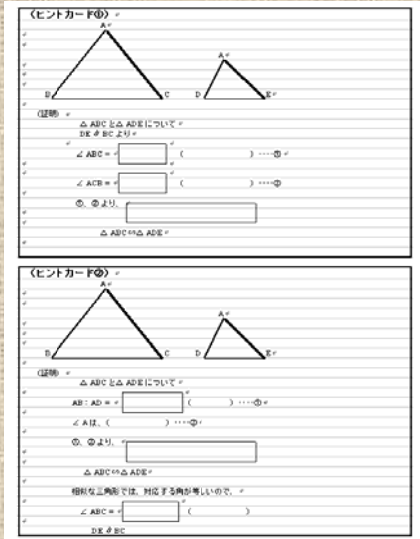
関数の変化の様子が視覚的にとらえやすいIT教材(パソコン)を生徒自ら操作することによって、基本的知識の定着を図り、理解を深める上で有効であった。

指導と評価の一体化

問題番号	問題	15分
大①-1	(1) 三角形の内角の和は( )である。 ① 三角形の外角は、それと( )に等しい。 (2) 下の図で、 $\angle X$ の大きさを求めなさい。 (ア) (イ) (エ)	
大①-2	右の図の直線のうち、 $b$ と平行であるものを記号//を使って示し、その理由を言葉で書きなさい。また、 $\angle y$ と等しい角を示し、その理由を言葉で書きなさい。 理由( ) $\angle y = ( )$ 理由( )	
大①-3	(1) 右の図で $l \parallel m$ 、 $\angle d = 40^\circ$ のとき、 $\angle f$ 、 $\angle h$ の大きさを求めなさい。 (ア) $\angle f = ( )$ (イ) $\angle h = ( )$ (2) 2直線に1つの直線が交わるとき、 ① 2直線が平行ならば、( )が等しい。 ② ( )が等しい。2直線が平行である。	

毎時間実施する振り返りチェックテストによって、指導と評価の一体化が図れ、基礎・基本が定着した。

導入教材の工夫



作図による導入教材は、生徒自ら図形の性質を発見し、証明しようとする意欲を高めるのに有効であった。

## 視点2 学習活動に対する支援は適切であったか。

- 課題解決に向けた段階的なヒントカードの提示によって、生徒が自ら課題を解決することができた。
- 操作活動をグループで行うことによって、生徒が互いの考えを学び合い、課題解決をすることができた。
- 場面に応じて提示用パソコンモニターを使って説明したことは、生徒の理解を深める上で適切であった。
- 問題練習において、一人一人の〇付けを行う機会支援で、生徒がますます気付き、それを解消することができた。
- 個々の考えをまとめたミニホワイトボードを使うことによって、生徒同士が意見の交流を深めることができた。

## 視点3 発問、板書について。

● 発問で授業の流れが大きく変わるので、ねらいに迫れるよう、予想される生徒の反応を踏まえた発問計画を準備しておくことが大切である。

● 理解の手助けになるよう、フラッシュカードやミニホワイトボードを使用することなど、視覚的にも分かりやすい板書が必要である。